

令和5年第3回定例会 一般質問内容一覧

日時 令和5年9月4日（月曜日） 午前9時30分から（質問順 1番から4番まで）

場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	西 健太郎 議員	1) JR新宮中央駅・西鉄新宮駅の利便性を向上させるには	<p>JR新宮中央駅・西鉄新宮駅の利便性向上は、町民にとって関心が高い事柄である。また、西鉄新宮駅の利便性向上は、将来的な西鉄新宮駅の存続にも関連している課題であると捉えている。</p> <p>町長は6月の所信表明の中で、JR新宮中央駅や西鉄新宮駅の利便性向上に向けた取組について、鉄道2社と協議を始めたいとの考えを述べた。町長就任から約5か月が経ち、町長自身が考えるJR新宮中央駅と西鉄新宮駅の利便性向上策の中身についてもまとまってきたことと思う。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町長の考えるJR新宮中央駅・西鉄新宮駅の利便性向上策は。 2 町長が公約に掲げていた「JR新宮中央駅を快速列車停車駅に」を実現させるための具体的な方策は。 3 西鉄新宮駅の利便性向上策として、例えば、楯の松原内に駐車場を整備するなどの方法でパーク・アンド・ライドに取り組み、西鉄新宮駅からの電車利用を促してはどうかと思うが、見解は。 4 福岡市営地下鉄空港線から姪浜駅を経由して直接JR筑肥線へ相互乗入しているように、和臼駅での西鉄貝塚線・JR香椎線の相互乗入で西鉄新宮駅～JR宇美駅が乗り継ぎなしにつながれば、糟屋郡の一体感も醸成されると思う。西鉄新宮駅の利便性向上と将来にわたる存続のためにも、町長自ら和臼駅での西鉄貝塚線・JR香椎線の相互乗入を推進し、機会あることに提案してはどうかと思うが、見解は。 	町長
2番	大牟田 直人 議員	1) 子どもの安全を守る取組を	<p>今年6月に多くの不審者情報があり、「不安」との声を多く聞いた。子ども達が安全に学校へ登下校できることは暮らしやすさや町民の安心につながると感じる。そのために、現在行われている登下校時の見守りなどで不審者が出にくい町にすると同時に、子ども達が自ら自分の身を守るための取組が必要と考える。</p> <p>そこで、次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 通学路では、たくさんの方が子ども達の安全を見守っていることを発信し、また、見守りを行う人が増えることが、不審者が出にくい町につながると感じる。見守りボランティアの活動や、各団体が行っているボランティアの募集を、町が積極的に発信し、町民に周知することはできないか。 2 子ども達が自ら「自分の身を守る力」を身につけることが大切だと感じる。現在、小中学校で行っている取組は。 3 子ども達が自ら「自分の身を守る力」を身につけるためには、以前町内の小学校で行っていたCAPプログラム（子どもへの暴力防止プログラム）が有効だと思うが、実施することはできないか。 	町長 教育長
		2) ビオトープや今池の保全と活用を	<p>人丸公園のビオトープとシーオーレ新宮の今池は、多様な動植物が生息しており、環境学習の場、住民のふれあいの場、自然を感じる場として保全し活用していくことが大切である。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保全活動や観察会などの現状と今後の計画は。 2 福津市の手光ビオトープや北九州市の響灘ビオトープなど、ボランティアを活用し保全活動をしていたり、定期的に観察会を行ったりしている自治体もある。人丸公園のビオトープや今池で、保全のためのボランティアの募集や、動植物の観察会を行うことはできないか。 3 生息する動植物の情報を発信することが、町民がビオトープや今池に関心を持つことにつながると感じるが、発信できないか。 	町長
3番	庵原 伸一 議員	1) 高齢者窓口の一本化に向けた具体策は。	<p>町長は選挙公約の中で高齢者窓口の一本化について言及しており、また6月定例会時の所信表明でも、「高齢者窓口が、役場本庁と福祉センターに分かれていてどこに行ったらよいかわかりづらい、などの声が多く聞かれるので、早急に内容を検討し、改善していきたいと考えている。」と発言があった。</p> <p>また、例えば福祉センターで高齢者福祉サービスの手続きをして、同時に国民健康保険の手続きをしようとする場合、本庁へ移動する必要がある。2つの施設を高齢者が移動することは大変であるという声を聞く。</p> <p>そこで次の2点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 分散されている高齢者窓口を一本化することについて検討している内容は。 ② 実施時期はいつ頃を考えているのか。 	町長
4番	安武 久美子 議員	1) 带状疱疹ワクチン公費助成制度の導入を	<p>带状疱疹は、高齢になって水痘・带状疱疹ウイルスが再活性化することで約30%の人が罹患し、発症率は50歳代から上昇、80歳までに3人に1人が発症する疾病と言われている。神経節に沿って体の片方に赤い発疹と痛みが出て、合併症として、50歳以上の発症者の約20%に、長期間痛みが続く带状疱疹後神経痛が出るとされる。また、頭部や顔に発症すると危険な後遺症（失明、顔面麻痺、髄膜炎）が出るとの報告がある。</p> <p>近年、带状疱疹を予防するための有効なワクチン2種類が認められている。ワクチン接種を行うことにより、住民は発症のリスクから解放され、発症者の経済的負担が軽減できるとして、全国約270の自治体が高額であるワクチン接種の公費助成を行っているという。</p> <p>そこで次の3点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本町における带状疱疹の発症数と動向は把握できるか。 ② 住民への带状疱疹に関する情報発信と啓発、ワクチン接種推奨に向けた取組は。 ③ 本町独自で、現在任意接種となっているワクチン接種の公費助成を行うことはできないか。 	町長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。是非ご覧ください。

※スマートフォン及びお手持のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。是非ご覧ください。

※傍聴の受付は、役場1階総合案内で、当日午前9時から行います。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しく下さい。